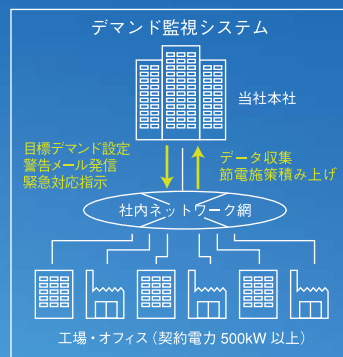


小さな節電をつないで、大きな力にする。

深刻な電力不足が心配された2011年夏、政府は、東北電力・東京電力管内の大口需要家(契約電力500kW以上)に対し、ピーク時の電力使用量前年比15%削減を義務づけました。三菱電機グループでは、独自に前年比25%削減というさらなる厳しい目標を設定。この目標を達成するために導入したのが「デマンド監視システム」です。点在する東京電力管内の16拠所の電力使用状況を、中央で一括して監視、制御することで、目標数値(25%削減)を超えることがないよう、効率的に管理するものです。同時に、太陽光発電やLED照明などの導入から、照明・空調の運用改善まで、きめ細かな施策を実行。その結果、自社目標を上回る27.6%節電(東京電力管内)を達成することができました。この三菱電機グループ一丸の成果を、さらに大きく広げていくために、現在「デマンド監視システム」を国内の全大口需要家対象である68拠所へと拡大導入しています。地球の未来のために、まず私たちが「エコチェンジ」。



リアルタイムデータ
まず電力消費量を把握することが
節電への近道になります。

27.6%
ピーク電力を削減

